

頑張れ九里!

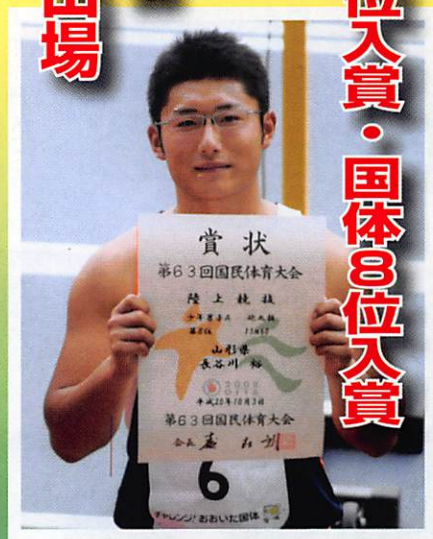
No.29
2009.3

九里学園高等学校部活動後援会報

DO YOUR BEST



陸上長谷川
全日本ジュニア選手権6位入賞・国体8位入賞
陸上浅井
国体出場
スキー部 島貫・近田・佐藤
冬季インターハイ出場



平成20年度の活動を振り返って 頑張る部活動 vol.2 ダンス部

●発行／九里学園高等学校部活動後援会

米沢市門東町1-1-72 ☎(0238)22-0091 FAX(0238)22-0092

「部活動の想い出は、心の財産」



部活動後援会会長

後藤 利明

部活動後援会の活動に對しまして、日頃より会員の皆様をはじめ、保護者、関係各位から多大なる御協力、御支援を賜りまして厚く感謝申し上げます。

日々の移ろいは早いもので、あつという間に卒業式を迎える季節となり、今年度がまもなく終了します。地球温暖化の影響なのか、今のところとりわけ雪が少ない冬となっておりますが、おかげで雪による交通渋滞や悪路もなくなり子どもたちの登下校には支障が出ていないようです。

さて、今年度の部活動の成績につきまして、陸上部（三十二年連続）と卓球部がインターハイ出場を果たしたほか、県新人大会でも上位に入賞するなど、運動部も文化部もそれぞれ立派な実績を残しております。これは「継続は力なり」という言葉のとおり、厳しい練習に耐え、ひたむきに部活動に取り組んできた成果でありますので、子どもたちを大いに褒めていただきました。

と思います。特に、一年生はこの一年間の部活動を通して、人として大きく成長したことを思います。部活動の中では規律ある行動が求められ、時には人間関係の難しさに悩んだこともあったでしょう。辛さ、喜び、達成感なども体感し、それらを克服、経験することで、さらに豊かな人格を持った人に成長していくものと思います。まもなく卒業する三年生にとって喜怒哀楽を仲間と共に味わった部活動の想い出は、忘れたくない心の財産になるでしょう。これからの人生において、迷ったり、立ち止まるときがあります。そのときにはその心のアルバムを覗いて見てください。きっと、ヒントが浮かんだり、元気が甦ることでしょう。

未曾有の金融危機を発端にした急激な景気後退は雇用情勢の悪化を招き、今大きな社会問題となっております。誰もが先行きに不安を覚える事態となっております。

います。特に、四月に就職予定の方にとりましては、保護者を含めて御心配されていることと思います。この世界的な金融危機は、資本主義を崩壊させるとまで言うエコノミストもいます。良識や規制によってコントロールされていた経済が、いつの頃からか拝金主義の色が濃くなり、「勝ち組負け組」の表現に象徴されるように、自分だけが良ければいいとする社会風潮になってしまっていたような気がします。今後も当分の間は経済の不安定な状態が続くことが見込まれますが、部活動で鍛え、磨いた精神力と前向きな気持ちがあれば、困難にぶつかっても必ず乗り越えることができますので、自信を持って新たな進路に旅立って欲しいと思っております。

次代は君たちが活躍するステージです。君たちの洋々たる未来が輝くことを祈っております。



ガンバレ！スキー部！



学 校 長

九 里 廣 志

昨年、本校職員の佐藤貞夫が代表を
している『米沢クロスカントリークラ
ブ』のメンバーだった島貫蓮と佐藤香
澄の二人が、本校に入学しました。一
年生二人で練習を頑張り、活躍したよ
うすは、すでに昨年のこの部活動後援
会報でお伝えしたとおりです。まだま
だ力の差を感じた一年間だったでしよ
う。しかし、その勝ち負けよりも、彼
女たちが一番残念だったことは、二名
では「リレー」に参加できないこと
でした。個人のレースを頑張ることはも
ちろんですが、チームとしてお互いに
欠点を補い合いながら、協力してレー
スするリレーとの差は、部活動として
は大きいものがあります。メンバーが
増えてくれることを期待しての一年間
でした。

今年度、待望の新生・近田沙稀が
入学しました。これでリレー出場可能
なメンバー数がそろったのです。保護
者も含めて、シーズンの到来を待ち焦

がれたのでした。しかし、今年は思い
もかけない大きな問題がありました。

いつまでも「雪」が降らないのです。
雪の上で行うのと似たような状況で練
習する方法も最近は多くあるのでしよ
うが、やはり実際に雪の上を走らない
ことには練習になりません。：：とい
うことで、保護者の方たちのご協力も
得ながら、北海道での合宿ということ
になりました。白銀の雪の上で、みん
なで頑張ろうと、気持ちもまとまって
きたことと思っています。ようやく臨
んだ県大会、最上地区の選手たちが上
位を占める中、本校の三人も健闘し
て、見事にインターハイの出場権を獲
得しました。それも念願のリレー種目
もです。

インターハイは長野オリンピックの
会場にもなった白馬のコースです。
きつと、普段とは違った緊張に包まれ
たことでしょう。果たして自分の力を
充分発揮できたでしょうか。応援に行

けなかったのが残念ですが、選手たち
の保護者たちは全員応援に駆けつけて
くださったと聞きました。それも真新
しい「くのり」の桃太郎旗も一緒に。
リレーは出場二十九チーム中二十三位
でした。全国のレベルの高さを実感し
てくれたことと思います。このメン
バーにまた新人も加わって、次年度は
もっと強力なチームができること
でしょう。

先日、NCVケーブルテレビで昔の
様子を放映した中に、米沢の小学生ス
キー大会のようすがありました。その
年から女子のジャンパーが登場したと
いう映像で、優勝者に小浅星子の名前
がありました。映った後の解説に、『こ
のときの優勝者小浅さんは、日本の女
子ジャンプの草分け的存在で、今も現
役で頑張っています』との紹介があり
ました。本校在籍時代、彼女もお父さ
んと一緒に日本各地のジャンプ台を、
雪を求めて転戦して
いたことを思い出
しました。シーズンの
はつきりしたスポー
ツの、または屋外ス
ポーツの宿命でしょ
う。大変でしょうが、
みんな頑張つて欲し
いものです。応援に
も行きたいですね。



男子陸上競技部

国体・Jrに出場して

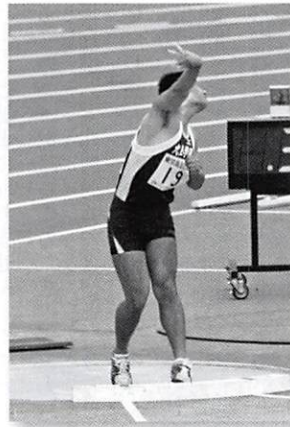


三年一組
長谷川 裕
(川西一)

私は今年、三つの全国大会に出場させていただきました。その中で、国体・Jrの大会では入賞を勝ちとることができました。しかし、私の中でインターハイがあったからこそ、これらの大会での入賞があったと思います。

インターハイでの私は、予選から決勝のことばかり考えていて、予選はまったく集中していませんでした。その結果が予選落ちでした。私は、この大会で自分の意識の低さを改めて学びました。そして一投に対する思いが、周りに劣っていると感じる大会でした。それから約二ヶ月後、国体が開かれました。私はインターハイでの失敗は絶対にしないと心に誓いこの大会に臨みました。一投一投に全てをぶつける気持ちで投げました。皆からの応援もあり、八位に入賞することができ、イ

ンターハイでの雪辱を果たすことができました。一週間後のJrでも自己ベストで六位入賞することができました。これらの大会を通して、競技者として、人間として、少しですが成長することができたと思います。



女子陸上競技部

国体に出場して



一年六組
浅井 智 佐
(長井北)

私は今年度少年B百メートルハードルで、大分国体に出場させていただきました。

私にとって、全国規模の大会はこの国体が初めてでしたので不安や焦りも多くありました。大分での試合当日に至るまでにたくさんの方々に指導をしていただき、また精神的な面でも支えていただいたお陰で、最高の状態で試合に臨むことができました。

結果は狙っていたところには届きませんでした。ベストも出て、これからも陸上競技を続けていく上でとても良い経験になりました。また、もう一度全国の舞台で勝負したい！という思いを強く抱くことができました。

国体に出場して、感謝の気持ちを保持して走ることの大切さを再確認しました。私がある場で走れたのは私一人の力ではありません。国体で学んだことを活かし、更に前進します。ご指導・応援本当にありがとうございます。



スキー部

「リレー」でのインターハイ出場



二年三組
佐藤 香澄
(米沢五)

今回、私は県大会でクラシカル・フリーとも十一位という結果で、自分の力での個人インターハイ出場はできませんでした。その分二年の島貫蓮さんと一年の近田沙稀さんとの女子リレーという種目でインターハイ出場することができました。女子リレーは五kmの距離を一走者がクラシカル走法、二・三走目がフリー走法での三人がいなければできない競技です。昨年は部員が二人しかいなかったため参加はできませんでしたが、今年は女子高時代以来の何十年ぶりというリレー復活でした。そのリレー競技に九里学園として出られる事を誇りに思います。ただ一つ、もっともっと自分自身の努力が必要だと思いました。今回は自分が二人に迷惑をかけてしまった・・・。申し訳ない気持ちでいっぱいです。だか

らこそ、今年は誰よりも練習し、自分を磨いて、来年こそ三人で笑えるようにしたい!!監督やコーチ、親にも感謝したいと思います。

来年、成長したスキー部となって九里学園の名をあげたいです。



スキー部

スキー



二年四組

島貫 蓮

(米沢三)

初めて北海道で大会に出て、旭川大

学の皆さんと出会ったことは、私の中でスキーに対する考えや思いがまるつきり今までと変わって帰って来ました。これまでのレースを通して強く自分に足りないものが分かりました。もちろん体力的にも足りないのですが、一番はメンタルの弱さです。結局は自分自身に勝てるか負けるかだと思います。苦しい時のもう一步。ながあってもゴールして倒れるまで絶対に諦めないこと。自分のスタイルを曲げないこと。一番大切なことは自信を持って自分を見失わないで自分を最初から最後まで信じてあげること。この前の成績に今シーズン初めて親コーチは喜んでくれました。私自身も喜んでくれたこ



とに本当に心から嬉しかったです。スキーは数多くの人達の支えがあつてできています。さきで感じます。まだ思うような結果を出せていませんが、自分のためにも親、コーチを結果で喜ばせたいです。喜んでくれるためにもっともつと努力します。まずは選抜で結果を残したいです。自分を信じてレースに出たいです。現実から逃げないで、感謝の気持ちを忘れないで、結果を出すまで努力します。

スキー部

インターハイに出場して



一年五組

近田 沙稀

(米沢五)

長野県白馬市で行われたインターハイに出てきました。一番最初にフリー競技があつてコースは登りがとても長くて下りはとても急で下手に滑ったらコースからはみ出て、がけに落ちそうな所で、やっぱりオリリンピックのあつ

たコースはすごいと思つたし、出場した人も多くてびつくりしました。

クラシカルはグリップミスと自分の力不足であまりがんばれなかったです。リレーではいつも二走なのに今日は三走で最後を走らなければならなくなつて、もう出番がきて走つたらもう前に人が見えなくて何度もあきらめそうになつたけど、あきらめずがんばつて一人は抜かせたけど順位は二十三位であまり自分のにはよくなかつたので来年にむけてまた練習を強化して今度はいい結果を残したいです。



がんばる部活動

ダンス部紹介

vol.2

観てくれる人たちへ 精一杯の演技を!!

ダンス部メンバー

二年 菊地 道世

私達九里学園ダンス部は、部の名称を「ジャズダンス部」から「ダンス部」に正式変更し、活動しています。毎日地味な基礎練習ばかりをしています。しかし、みんな初心者とは思えないほどの上達ぶりです。学校行事の他にも外部のイベントに数多く参加させていただき、大きな成果を得ていると思います。これからも校内や地域の方々に楽しんでいただけるようなダンスを踊っていききたいと思います。

二年 樋口 佳央梨

ダンス部のマネージャーとして二年間頑張ってきました。一つひとつが初めてのこと、最初はとまどいもありましたが、先輩や友達と一緒に楽しく活動出来て充実した部活動を送ることができました。去年はダンス部として新しい活動に多く参加することができ、たくさんの人と関わることが出来ました。実際に部活動が出来るのはあと半年ぐらいなので、これからもダンス部のマネージャーとしてみんなを支えていけるように頑張っていきたいです。

二年 安部 かすみ

私は、友達に誘われダンス部に入部しマネージャーになりました。ダンス部初マネージャーということで何をすればよいのか分からないまま部活動に行っていました。しかし、卒業した先輩や三年生様々なことを教えてもらいました。これからもマネージャーとして出来る多くの仕事を引退までやり遂げたいです。

部長 二年 齋藤 花奈

九里祭や体育祭、壮行式などの学校行事以外に、地域のお祭などにも参加させてもらい、毎日充実しています。日々の練習は、華やかなステージとは違い、基礎練習を基本とした地味な練習ばかりですが、ステージに立つために全員が一生懸命練習をしているので、みんなとても輝いていると思います。私はダンスの楽しさを先輩に教わることで、今度は私が先輩として後輩に、ダンスの楽しさを教えられるようになっていきたいと思っています。これからの部活動もより一層頑張っていきます。



★★ ダンス部 ☆ 平成20年度活動記録 ★★

校外活動記録		校内活動記録	
4月29日	上杉まつり開幕祭ステージにて演技披露	4月8日	入学式・生徒会入会式にて演技披露
8月14日	山上地区コミュニティセンター夏祭りにて演技披露	4月16日	新入生歓迎会にて演技披露
9月15日	関根地区敬老会にて演技披露	5月1日	壮行式にて応援演技
10月12日	米沢市生涯学習フェアステージにて演技披露	6月4日	県大会壮行式にて応援演技
10月19日	おしょうしなハーフマラソン開会式典前演技披露	7月5日	第3回定期発表会「Motion!!!」
10月26日	山形県私学フェスティバル高校生ステージ演技披露	8月6日～8日	校内合宿
12月上旬	NCV「おお!青春」取材・放映	8月31日	九里祭にて演技披露
12月上旬～	グリコポッキー公式HP第2回ダンスムービー現在第4位 (HPから1日1回クリックよろしくお願いします)	10月17日	体育祭にて演技披露「フィールドダンス'08」
2月15日	米沢雪灯籠まつりステージにて演技披露	2月12日	部活動後援会にて演技披露
		その他	野球応援など
		3月3日	卒業祝賀会にて演技披露予定(第一ホテル米沢にて)

定期発表会	
第1回定期発表会	「Dance of Freeway」(平成18年12月)
第2回定期発表会	「chapter 2」(平成19年12月)
第3回定期発表会	「Motion!!!」(平成20年7月)



顧問より

「限らない表現方法を求めて」
ダンス部

「ダンス」は、人間の持つ表現方法の一つです。現在私たち九里ダンス部はジャンルにとられない表現をしていこうと活動しています。三年前から上杉まつりやイベントなど地域の様々な場で発表する機会をいただき、また今年度、定期発表会も三回目を行うことができました。

ダンスというと、ほとんどの人がメディアで活躍する数多くのアーティストを思い浮かべ、「かっこいい」「かわいい」等のイメージだけを持っていると思います。しかし、本当はそんな単純なものではなく他のスポーツと同様観ている人に感動を伝えることのできるものです。技術で人を圧倒することができても、感動させることはなかなかできない。ただ『かっこよく』踊るだけではなく、必死に何かを伝えようとする身体から伝播していく【何か】。踊りだしたら、そこが部員たちの舞台です。これからも演じることを覚え、演技をするたびに、生徒自身がそこから学びとり、成長していければ良いと思います。

目指せ神戸!オールジャパン出場!

(ダンス部顧問 鈴木涼子)

各部の奮闘!!

活動を振り返って

男子陸上競技部

一人でも多く全国へ



三年一組
長谷川 裕
(川西一)

私達陸上部は、インターハイという目標に向け、一人一人が意識を高くもって、毎日の練習に取り組んできました。合宿も何度か行ない、選手一人一人が大会に向けて実力とモチベーションを上げていきました。また、合宿の中でミーティングで、コーチから大切なお話をいただき、精神的にも成長することができました。

そして、とうとう東北大会が始まりました。全員がインターハイ出場を目指し、全力を尽くしましたが、九里全体の結果としては少し残念な結果になりました。

今年一年間の大会や合宿、日頃の練習で培った力を来シーズンに活かし、一人でも多くの人が全国の舞台で活躍することを願っています。来年一年間、後悔のない年にして下さい。

最後に、ご指導して下さいました先生方、応援して下さいました皆様、本当にありがとうございました。

女子陸上競技部

部活動の大切さ



三年五組
舟山 侑里
(小国)

部長という大役を務めてきたこの一年間は、言葉では言い表すことができない充実した一年間でした。あまり、部長らしい部長ではなかったと思いますが、雰囲気の良いチーム作りに必死でした。市営陸上競技場が新しくなり、地区大会、県大会、両方とも毎日練習しているホームグラウンドで行われ、部員全員が意識の高い練習に取り組むことができました。仲間が戦っている時は、自分も戦っている気持ちで応援し、本田ファミリー全員が一丸となり競技することができたと思います。

部活動を引退し、部活動の無い生活を送ると改めてその大切さに気づかされます。現役の時には感じられなかった事が今になりようやく分かってくるのです。私たち三年生は、三年間の過程で技術面だけではなく、精神面も鍛えることができました。引退したからといって九里学園陸上競技部が終わる訳ではありません。三年間で身に付けてきた精神力をこれからどういった場で

発揮できるかです。引退してもこれからずっと九里陸上競技部であるという事を忘れない様にしていきたいです。

野球部

一年間を振り返って



三年三組
杉原 哲平
(米五中)

私達、野球部は、甲子園出場を目指し、頑張ってきました。辛い冬場の練習を乗り越えた春の地区大会、準決勝で米沢工業に惨敗結果三位で県大会出場を果たしました。そして県大会一回戦は県内でも強豪羽黒高校でした。接戦の末三ー零で負けてしまいました。私達は強豪校と互角に戦えるという自信が持てました。七月十一日に山形県高校野球選手権大会が開幕しました。一回戦山形南、四ー二で勝利、二回戦山本学園、七ー一で勝利、三回戦山形中央、七ー二で惨敗結果はベスト十六に終わってしまいました。

私はこの結果に悔いはありません。野球部員五十人が一丸となって戦った結果だからです。私達がかつて勝った進んで来たのも校長先生を始め、先生方、全校生の皆さんそして保護者の皆さんの応援があったからです。応援

は、応援して下さいました先生方、応援して下さいました皆様、本当にありがとうございました。

本当にありがとうございました。野球部員一同心から感謝しています。



男子卓球部

インターハイへの道2008



三年一組 井上 裕人 (米五中)

私達男子卓球部は、インターハイ出場という大きな目標に向かって活動してきました。みんな仲が良く、そして活気のあるとても良い雰囲気の中活動したと思います。

地区大会では、団体戦・シングルス・ダブルスとすべての種目で優勝す

ることができました。全員がベストを尽くすことができ、インターハイのかかっている県大会に向け、とても良いスタートを切れたと思います。

しかし、県大会では、準々決勝で接戦の末敗れてしまいました。その試合は、決勝までの試合の中で一番の山場であり、去年もそのチームに負けたというところもあって、どうしても勝ちたい試合でした。リベンジを誓っていただけに、本当に悔しかったです。

今年には本当に悔しい結果となった一年でした。私達三年生の分まで、後輩達にはこれから頑張っていってほしいと思います。

今まで本当にありがとうございました。

女子卓球部

一部活一年間を振り返って



三年七組 佐藤 舞 (川西二)

私が部長を務めてから、早くも一年が経ちました。この一年間は、私達卓球部にとっても、私自身にとってもとても濃い年でした。その中で学んだ事は、数えきれない程あります。その中でも特に、仲間の大切さ。一人一人、

苦しい壁にぶつかってきたと思います。一緒に競い合える仲間、支えてくれる仲間。そして、同じ目標に向かって共に汗を流した仲間。最後の県大会では、東北大会にも行けず、悔しい思いでいっぱいでしたが、私達三年生は、私達が今まで学んだ事、また悔しかった思いを後輩に託し、精一杯最後まで仲間と共に頑張つて欲しいと願っています。

最後に、私達をいつも温かく見守り、アドバイスをくれた大滝先生、荒井先生、コーチ、どんな時も背中を一生懸命押してくれて、誰よりも応援して下さいました保護者の皆様や先輩方。すべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当に、ありがとうございました。

男子バスケットボール部

仲間との大切な日々



三年八組 大橋 尚之 (米三中)

「仲間との大切な日々。」それが私達の一年間だったように思います。「市大会優勝」を目標に、毎日厳しい練習に耐え、みんなで声をかけ合い励ましあいながら部活動をしてきました。五月の市大会では、市大会優勝とはいき

ませんでした。四年ぶりに県大会出場を成し遂げることができました。県大会出場を決めた試合の終了のブザーが鳴り終わった瞬間を今でも忘れることができません。残念ながら県大会は勝ち進むことはできませんでしたが、一人一人がそれ以上の何かを掴むことができたと思います。

私達は、この一年間をバスケットボールという一つの競技を通して、人間的に一步大人に近づけたようなそんな感じがします。

厳しいながらも誠意を持って、私達と正面から向きあつて指導して下さいました富樫先生。本当にありがとうございました。

男子バスケット部で過ごした一年間は、本当に最高の時間でした。

女子バスケットボール部

人生の宝物



三年四組 大竹 菜美 (米七中)

先輩の背を追っていた私が、今度は部長としてチームをまとめる立場となった。先輩を見て責任の重さを感じていたが、その時感じたもの以上に重く辛いものだった。しかし、その辛さ



を感じさせないくらいに、支えてくれたのは部の仲間たちである。ぶつかり合うことも多々あったが、決して自分に甘くなく、お互いに高め合える練習ができたと思う。

最後の地区大会は、一点差で優勝を逃した。県ベスト四を目標に一戦一戦悔いなく、最後は笑おうと言葉をかけた思い出の県大会。一本一本放つシュートを大切に挑んだが、再び一点の重みを味わされる結果となった。最後の舞台にかけた想いが大きかったのととても悔しく、忘れることの出来ない試合である。

部活動を引退して今、県大会の結果は悔しかったけれど、後悔はしていない

い。これまでたくさんの方々を支えられてきた環境の中でバスケットボールができ、最高の仲間と出会えたことを人生の宝として大切にしていきたい。

男子バドミントン部

悔いなし



三年八組
菊地 高広
(米三中)

私達三年生が中心となったのは今から一年前でした。その後私が部長という立場になりみんなを引っ張ってききました。また、高体連という大きな大舞台まで、みんなと必死に練習し、何よりバドミントンそのものを楽しもうと思いました。そして高体連の団体メンバー発表の時には、選ばれて喜んだ人もいれば、選ばれず悔しがっている人もいました。しかし選ばれた人は私を含め、大きな責任があり、何よりみんなの代表なので全力を出し切り、周りの「あの人が選ばれて良かった」と思わせなければなりません。そして高体連では一人一人代表選手が全力を出し切り、結果は三位でした。県大会でもみんなの全力を出してプレーし、応援し合ったものの、二勝三敗で惜しくも負けてしまいました。全く悔いはありません。

ませんでした。あったのはバドミントンをやり通したという大きな達成感でした。

女子バドミントン部

感謝



三年七組
工藤香奈子
(米三中)

初めて部長として務めた一年間は、私にとって忘れられない経験になりました。人の上に立つという難しさ、部員をまとめ引っぱっていくという責任は、重く大変なものでした。でも仲間の協力、先生やコーチの支えで頑張ることができました。日々の練習や合宿は、辛かったけど充実していました。どんな時も仲間が隣にいて、一番近くに来てくれた存在だったと思います。団体競技ではないバドミントンだけだからこそ仲間を信じて試合をした団体戦は、みんなが一つとなり頑張ることができました。こんなに仲間を信じて試合にのぞむことが出来たのも、辛い練習を共に乗り越えてきたからだと思います。年の差はあるけれど、仲間とはそんな関係のないものだと思えることができました。毎日のように学校に来て下さり、指導して下さったコーチ、支えて下さった先生、共に頑張り私についてきてくれた仲間、本当に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

サッカー部

「部活一年間を振り返って」



三年二組
佐藤 徹也
(米六中)

私は、この部活を一年間振り返ってみると、私達の代になって、人数が減り、チームとしてのまとまりもあまりなくバラバラでした。練習では、技術のレベルが低く、基礎を中心におこなった。また、辛い練習のときは、皆で、声を出し合い盛り上げていくことで、チームのまとまりも出てきて、大会に向け毎日の練習に取り組みめるようになりました。そして、大会では、一人一人全力でプレーし、皆で最後まで戦うことができ、悔いのない大会にすることができました。私は、サッカーを通して、精神面や協調性などで、大きく成長できたと思います。そして、サッカーを最後まで、チー

ムの仲間達とすることができ、とても良い思い出を作ることができ、良かったです。

バレーボール部

一年を振り返って



三年七組
齋藤 麻衣
(南原)

二年になってバレー部の部長になり、部員をまとめる立場になりました。練習メニューを考えたり、大会などで指示したり、大変でした。部長としての仕事がなかなかこなせず、思い悩んだ事も何回かありました。その度、仲間を支えてもらいながら部長をして来ました。この一年は自分も部員も大きく成長した一年だったと思います。技術面でも先生と相談して練習メニューを考え、毎日つみ重ねて来ました。そのおかげで少しずつ技術が向上して行きました。精神面でも、部員皆で支え合いながら辛い時も厳しい練習も乗り越えて来ました。バレー部に入って出会った人との関係をこれからも大切にしていきたいです。仲間や保護者の方や先生方がいたから充実した毎日が送れたのだと思います。ありがとうございました。

ソフトボール部

一年間を振り返って



三年四組
渋谷知恵美
(高島一)

羽黒戦二対一大接戦の末、勝利を手にした。私達にとつて最高の試合から新チームが始まった。

私達ソフトボール部は部員が足りず、練習試合が組めない日々が続いた。思うように試合が出来ず、不満がたまり仲間とぶつかった時もあった。そんな中、一人ひとりが自分のするべき事、ポジションを必死で守り、チームを上げ、一つになるうと話し合いや練習を重ねた。公式戦では、生徒に手伝ってもらいチームが勝つために力を尽くした。精一杯プレーをして、勝つた時は本当にソフトボールが楽しかった。この仲間で勝つ喜びは、チームの苦しかった時を忘れさせてくれた。私達はこの一年間でたくさんの人に助けられ、「感謝する」「仲間の大切さ」を学んだ。

この仲間とソフトを通して、心を通わせ我無者羅にプレーできたことは、私たちの一生の宝物です。

男子テニス部

部活一年間を振り返って



三年二組
高崎 拓真
(米七中)

部活一年間を振り返ってみて、テニス部は一人一人が個性的で、まとめるのが大変だった。しかし、その個性を生かして活動していたら、その個性がみんなのいい所をひき立ててくださったとまってくれました。

最後に大会では、三年生全員と部員全員でまとまって行動することができ、大きな結果を残すことはできませんでしたが、とても充実した時間を過ごすことができました。テニス部の部長を務めてみて、自分の精神的な部分も鍛えられたし、部員との絆も深められたと思います。部長を務めてみてとてもいい経験になったと思います。部長になった経験を生かして、これからの人生に役立てていきたいと思えます。

女子テニス部

三年間部活を頑張ってきた



三年五組
佐藤つかさ
(米五中)

この一年間の部活動は努力が報われた年だったと思います。

私達女子テニス部は、六人という少ない人数の中で活動してきました。そろそろ事が出来ず、思うように部活に取り組めない時もありましたが、地区総体優勝という目標を達成する為に、私達は、自主練や、夜練に一生懸命取り組みました。

そして、三年生にとつての最後の高体連では、団体戦、個人戦シングルス、ダブルス共に優勝する事が出来ました。部活一年間を振り返って、初めて部長になり、いろんな事を学ぶ事が出来た一年でした。部長として、リードしていく事の大変さ、何よりも協力、団結するという事、そして最後まで諦めず、努力をするという事を学びました。この三年間、辛い事や、苦しかった事、楽しかった事などたくさんあり、九里のテニス部で活動できて本当に良かったです。

剣道部

剣道部最高の一年



三年一組
加藤 哲朗
(米三中)

一年を振り返ってみて、私が思ったのは一年という時間の短さと支えて頂いた方々の多さでした。

部活は冬は寒く、夏は暑い中毎日のように行われ、一日一日は長いように感じていました。しかし、一年間を過ごしてみると短い時間だったと思います。ソラク厳しい日もありましたが、仲間と乗り切った事が自分への自信へととなりました。日常生活でも、挨拶や返事などから指導して頂き、剣道では技術や精神力を養う事が出来ました。その為部活は、私の高校生活の活力になり、学校内外の活動に結びついたと思います。

その中でも、私を支えてくれた部活の仲間や仕事の忙しい中でも部下へ来て下さった先生は、感謝しても足りない程多く支えてくれ、また、様々な事を教えて頂きました。

今まで支えてくれた仲間や横山先生、愛先生、応援して下さいました方々にこの

場をお借りして、ありがとうございます。

弓道部

部長として思うこと



三年三組
巻坂 駿
(飯 豊)

私達弓道部は、三年生八人、二年生七人、一年生九人で活動してきました。男子は全員で七名というとても少ない人数でしたが、女子と協力して顧問の福崎先生はじめ、近野先生の指導のもと、今まで頑張ってきました。

弓道は老若男女誰にでもできるスポーツで、弓道の作法は単純な動作の繰り返しですが、一射毎、そのときの心の動きが反映する、忍耐強さと集中力が必要なスポーツです。大会では、一人一人全力をあげて頑張りました。

応援も必死で行いましたが、良い結果になかなか結びつけることができなく、残念に思っています。弓道は室外競技の為、冬になると寒さにも耐えなければなりません。協力し、支え合って冬の寒さやいろいろな問題を乗り越えて、部員と一緒に部活ができて本当に最高

でした。顧問の先生方はじめ、家族や友達、さらにいろいろな人に支えても

らったので、部長として続けられたのだと感謝しています。この感謝の気持ちを忘れずに、今後とも生活していきたいと思っています。三年間ありがとうございました。

体操部

再び体操を始めて



二年七組
黒田 悠介
(米二中)

僕は中学生の頃も体操をしていましたが、昨年一月にまた活動を再開しました。九里には体操の器具がないため、体操の器具がある米沢二中で活動しています。他にも、女子が三人いますが、男子は僕だけなので、大会は個人種目で出場していました。

米沢二中で練習しているため、中学生といっしょに練習していますが、その中にとっても上手な人がいて、僕もそれに負けまいと、一生懸命練習し、今までできなかった技ができるようになった時は、嬉しいという気持ちになりました。そして新人戦では、東北大会に出場することができ、とても貴重な体験になりました。

今年の高校連では、昨年よりも良い成績を残し、東北大会に出場できるよ

水泳部

部活一年間を振り返って



一年六組
鈴木 悠希
(米二中)

うに、頑張っていたと思います。

七月の県高校総体では上位入賞を果たし、東北大会に進出したものの納得のいく結果ではありませんでした。課題となった事は、耐乳酸などの練習が足りなかった事、フォーム改善が十分にできなかった事です。次の大会の新人戦までには課題を克服する必要があります。新人戦では、総体と種目を変え自由形一本にしました。総体後スプリントに磨きをかけた結果、一〇〇Mでは二秒もベストを更新しました。久々のベストにとっても喜びました。県が終わる次は東北。さらにベストを更新したいと臨みました。結果は、五〇Mはベスト、一〇〇Mはベスト更新ならずというものでした。一種目ベストは出なかったものの、どんな状況でもこのタイムは必ず出せるタイムだと確信をもつことができました。インターハイに出場するために、課題克服に日々精進していききたいと思います。

茶道部

これからも、基本を大切に



三年七組
高橋 咲
(高島一)

今年の部活も相変わらずでした。ここ数年は部員の数も同じような数で、活動を行う上で方針を大きく変えたりすることがなく、部長としてだいぶ楽をさせていただきました。茶道は基本が命です。基礎がなっていないと御点前ではできません。覚えることが多く大変なのは事実です。だからこそ日々の練習が大切になってくると私は思います。新人生にはできるだけ一つの学年を指導者としてつけ、指導する側は復習しながら学ぶことができ、教えるるので一石二鳥です。

今年の九里祭はここ数年の中で一番お客様に恵まれた年だったと思います。一年生にお運びをしてもらい、お菓子やお茶を出してもらいました。みんなきちんとした作法が目立っていてすごく嬉しかったです。お茶の出し方も基本の一部です。後輩達には先輩としての自覚を持って、これからも茶道の活動に取り組んでいくよう、期待しています。

吹奏楽部

部活一年間を振り返って



三年五組
佐久間ちひろ
(米一中)

部活動での一年間を振り返ると、大変だった事、つらかった事、嬉しかった事、楽しかった事など本当に沢山の事を思い出します。

日々の練習では、同学年の仲間や先輩と楽しく時には厳しく練習し、充実した日々を送る事が出来ました。技術や音楽性も、もちろん沢山学べたのですが、部員全員で演奏出来る幸せとさせていただけの感謝の心も学ぶ事が出来ました。それを学ぶ中で、いろいろな問題が起きたり、人間関係で苦労したりした事もありました。しかし、仲間と協力し合い支え合いながら、解決する事ができました。

最後の大会では、良い結果を残すことが出来ずとても悔しい思いをしましたが、九里祭では全員楽しく演奏出来たので良かったです。この一年で一人人がいろいろな面で、本当に成長できました。後輩達には楽しく良い演奏を目指し、成長して欲しいです。

書道部

「部活一年間を振り返って」



三年五組
遠藤 美穂
(高島三)

私はこの一年間部長という仕事をがんばってきました。私は最初部長という責任ある仕事ができるか不安だらけでした。まとめたこともなかった私はどうしたらいいのか分からずとても悩みました。しかし、顧問の先生や部員のみんなに助けられました。作品の作る楽しさや苦しさを学び、また責任を持つということも学びました。高文祭では最後ということもあり、部員全体が集中し、とてもいい作品を書くことができました。私はこの一年間を振り返ると時間がたつのが早いなと思えました。多くの人に助けられ、また顧問の先生、先輩、後輩に助けられてこれたのは私にとってとても心強いなと感じました。たくさん迷惑をかけてしまったこともあるけど、こんな私について来てくれた部員のみなさん、たくさんのおアドバイスをくれた顧問の先生本当にありがとうございます。

ダンス部

「ダンス、そして仲間たちと出逢って」



三年五組
島津 里沙
(米三中)

私たちにとって最後の年となるこの一年間は、二年間積み重ねてきた努力を十分に発揮できた年でもありました。日々の練習は、ただダンスを踊るだけではなく、基礎練習を第一とし、地道な練習を日々重ねてきました。

私は、ダンスと出逢い、素晴らしい仲間達と出逢い、この三年間本当に充実した日々を送ることができました。それは、私自身だけではなく影で支えてくださった先生や仲間達がいてくれたからだと思います。そして、一・二年生のみなさん、これから苦しくて嫌になることもたくさんあると思いますが、最後までやり遂げることによって多くの喜びをつかむことができると思います。そのためにも、毎日の練習や発表を頑張ってください。応援しています。

最後に、涼子先生三年間本当にありがとうございました。ダンス部のみんな、あゆ、さちこ、めぐみ、みちよ三年間みんながいてくれて本当に楽し

かったよ。本当にありがとう♡

新聞部

仲間と共に!!



三年七組

今井 綾香

(米三中)

私達、新聞部では学校内の情報だけにとられず、地域全体が活発になるようにと、新聞を発行してきました。

今年度は、一年生三名が増え、計九名で活動してきました。今までになく人数が増えたと言うこともあり、スムーズに取材にも行けました。また、そのおかげで発行枚数も増やすことができ、充実した部活動となりました。

先生と部員が一丸となって、高い目標で活動していったことよって、分かりやすく、読んでいて楽しくなるような新聞が作れたと思います。

県学校新聞コンクールでは、優良賞という輝かしい賞をいただけたことに、部員全員で喜びました。この賞がいただけたことは、一人ひとりの自信もつながら、良い経験ともなりました。

新聞は一人ひとりのアイデアが入った作品だと思えます。改めて部員の大切さを感じ、先生を始め、協力してくださった方々に感謝したいと思

ます。

JRC部

協力し合うこと



三年七組

小関 聡美

(米三中)

私は、まさか自分が部長になるとは思っていなくて、みんなをまとめる事ができるのか不安でした。しかし、活動していく中で、私がどのような活動をしたらいいかわからなくなつて悩んだりした時、副部長や部員みんな、先生方が協力し支えてくれました。

そして、毎月行う活動をみんな協力して、話し合つて決めるようになりました。今まで行つていた活動とは少し違う活動も取り入れたり、九里幼稚園やいろいろな施設を訪問したり、とても有意義に活動することができました。その中で、人と触れ合う事の楽しさや大切さなどを学ぶことができたと思います。

これから生活していく中で、JRC部で学んだ事を活かして、頑張つていきたいです。

最後に、支え合いながら協力してくれた部員みんな、ありがとう。そして、携わってくれた先生方、ありがとう。

うございました。

演劇部

部員全員で



二年四組

後藤 亜希

(米四中)

今年を振り返つて一番の思い出は、地区大会です。私達は今回時代劇の脚本を創作して劇を行いました。時代劇をするのはけっこう難しく、部員全員四苦八苦してしまいました。でも、お客さんに喜んでもらいたい、それを大前提にして頑張つてきました。

結果は、県大会には一歩及ばず、とても悔しかったです。でも、私達の今まで練習してきた中で最高の劇を見ることが出来たと思います。お客さんにも楽しかった、良かったと喜んでもらえたし、そして何より、私達自身が程よい緊張をしながらとても楽しく劇が出来たのです。部員全員が心を一つに出来たことが本当に嬉しかったです。これからもこの経験を活かして、良い劇を皆で作っていききたいと思

文芸部

部活一年間を振り返つて



三年五組

佐々瑛里香

(米二中)

一年間、私は部長という立場になり、初めて部員をまとめることに挑戦しました。普段の私は人をまとめることが苦手だったので、自分自身への挑戦でもありました。

四月になり、部員集めや同人誌の発行で、最初から少し慌ただしい毎日が続きました。その中で自分は部長としての仕事ができているのか疑問に思い始め、一人で悩んだ事もありましたが、部員の支えもあり、最後まで部長としての仕事をやり終えることができました。そのおかげで自分自身に自信が持てるようになりました。

進路も決定し、これから夢への新たな道を行くことになりましたが、この一年間で学び経験した事を忘れず、大学生活を過ごしていきたいです。

英語部

英語の楽しさ



一年二組
横澤 宏樹
(南原)

僕達、英語部は九里祭で『アルマゲドン』の吹き替えとマイケル・ジャクソンについて調べ、掲示しました。申し込み用紙提出が遅れ、パンフレットにのらなくてお客さんがほとんど来ませんでした。自分達でがんばって作れたので良かったです。大変だった所は、吹き替えのレコーディングでした。夏休みに四日かけて完成させました。来年は、今年以上の物を作りたいと思います。

生活科学部

ありがとう。



三年四組
中川 朋子
(米一中)

元々個性派揃いで仲良しの生活科学部。四月からは思った以上に多くの新入生が入部し、更に賑やかに始まった一年だったと思います。



私達は日々九里祭に向けて、ぬいぐるみや消しゴム判子などの作品を作ったり、時には、クッキーや団子、須田先生のご指導のもとで蕎麦を作ったりと調理もしました。九里祭は私達の活動の一番の見せ場でもあるため、放課後や夏休みを使い協力し準備をしてきました。三年生は進路の関係もあり出れない時があったものの、一・二年生がその分頑張ってくれました。当日はクッキーの販売も、昨年とは一味違うものを作ろうとアイディアを出し合い工夫しました。クッキーは完売することができ大成功で終わり嬉しかったです。このことにより、皆で一つのものを作り上げる楽しさを学ぶことができました。この一年の活動を振り返ると、部員のおかげで楽しく活動ができ、三年生として悔いのない生活ができ、部長としても多くの事を学べ充実した一年でした。皆がいたからこそできたことです。

PC愛好会

一年間を振り返って



三年三組
高橋 俊樹
(沖郷)

この一年、最初は新入生があまり入部する人が少なく心配でしたが、後から数人入部してくれたのでうれしかったです。主な活動は検定に向けての練習で部員全員真面目に取り組んでいました。

PC愛好会には他にもさまざまな活動をやっています。体育祭では大衆の目に触れることはありませんでしたが、人知れず各クラスの得点をパソコンに集計することをがんばりました。九里祭ではDVD鑑賞をやり、OBの方が初めて来てくださったので去年より来てくれた人が増えたのでよかったです。これからもPC愛好会を後輩たちに引き継いで行ってほしいと思います。今までありがとうございました！

イラスト・アニメ愛好会

楽しく充実した日々



三年七組
結城 逸美
(米七中)



として残ると思いますが。

私達イラストアニメ愛好会は、日々画力アップと漫画甲子園出場に向けて頑張ってきました。残念ながら今年も漫画甲子園に参加することができなかったのですが、そのかわり一大イベントである九里祭に向け、部員全員が一致団結し、作品を描き上げ、当日は多くの方々が展示場を訪れて下さり成功させることができました。イラストアニメ愛好会として過ごしてきたこの一年間はとても充実した日々でした。今年も部員の人数が減りとても残念に思いましたが、少ない人数の中でも一人一人が真剣に部活動に取り組み、和気あいあいと楽しく活動することができました。イラストアニメ愛好会で過ごした日々は忘れることのない思い出です。

体育系部活動

東北高校新人大会

陸上競技部

- 男子1000M
 出場 齋藤 和磨(1年 川西一) 11秒23
 出場 遠藤 諒人(1年 米沢五) 11秒30
 男子2000M
 出場 遠藤 諒人(1年 米沢五) 22秒95
 出場 外山 博規(2年 米沢五) 23秒03
 男子5000M
 21位 伊藤 将太(2年 米沢四) 15分44秒95
 男子4000Mリレー
 齋藤 和磨(1年 川西一)
 遠藤 諒人(1年 米沢五)
 安達 豊(2年 長井北)
 外山 博規(2年 米沢五) 42秒83
 男子16000Mリレー
 齋藤 和磨(1年 川西一)
 遠藤 諒人(1年 米沢五)
 安達 豊(2年 長井北)
 外山 博規(2年 米沢五) 3分22秒81
 7位

男子円盤投

21位 羽賀 正貴(2年 米沢五) 33M25

女子1000M

8位 渡部真希子(2年 宮内) 12秒37

女子2000M

7位 渡部真希子(2年 宮内) 25秒81

女子1000Mハードル

出場 浅井 智佐(1年 長井北) 16秒31

女子16000Mリレー

出場
 高取亜里紗(2年 米沢一)
 渡部真希子(2年 宮内)
 羽田 美穂(2年 長井北)
 柿崎 美里(1年 米沢三) 4分4秒84
 女子やり投
 18位 高橋ひとみ(2年 米沢二) 31M18
 女子7種競技
 2位 遠藤紗耶香(1年 米沢三) 3786点

体操部

男子個人総合
 39位 黒田 悠介(2年 米沢二)

水泳部

50M自由形

12位 鈴木 悠希(1年 米沢四) 28秒31

100M自由形

13位 鈴木 悠希(1年 米沢四) 1分1秒70

山形県高校新人大会

陸上競技部

男子1000M

3位 齋藤 和磨(1年 川西一) 11秒27 東北新人へ

4位 遠藤 諒人(1年 米沢五) 11秒30 東北新人へ

5位 安達 豊(2年 長井北) 11秒36

男子2000M
 3位 遠藤 諒人(1年 米沢五) 22秒71 決勝3位 自己新 東北新人へ

4位 外山 博規(2年 米沢五) 22秒80 東北新人へ

男子4000M
 出場 齋藤 和磨(1年 川西一) 52秒26

出場 外山 博規(2年 米沢五) 52秒82

男子800M

出場 安部 力矢(2年 小国) 2分2秒91 自己新

出場 廣瀬 七生(1年 山形六) 2分9秒14

出場 佐藤 広樹(1年 山形六) 2分9秒16

男子1500M

出場 伊藤 将太(2年 米沢四) 4分10秒83

出場 安部 力矢(2年 小国) 4分23秒56

出場 廣瀬 七生(1年 山形四) 4分23秒81

男子5000M

6位 伊藤 将太(2年 米沢四) 15分20秒31 自己新

男子走幅跳
 5位 安達 豊(2年 長井北) 6M31 自己新

7位 米野 敬介(1年 小国) 6M14

男子三段跳
 11位 米野 敬介(1年 小国) 11M53

男子砲丸投
 8位 羽賀 正貴(2年 米沢五) 10M27

男子円盤投

1位 羽賀 正貴 (2年 米沢五)

35 M 50 東北新人へ

男子400Mリレー

齋藤 和磨 (1年 川西一)

2位 遠藤 諒人 (1年 米沢五)

安達 豊 (2年 長井北)

外山 博規 (2年 米沢五)

42秒82 東北新人へ

男子1600Mリレー

齋藤 和磨 (1年 川西一)

2位 遠藤 諒人 (1年 米沢五)

安達 豊 (2年 長井北)

外山 博規 (2年 米沢五)

3分24秒38 チーム新 東北新人へ

女子100M

3位 渡部真希子 (2年 宮内)

12秒42 自己新 東北新人へ

7位 羽田 美穂 (2年 長井北)

12秒74 東北新人へ

出場 浅井 智佐 (1年 長井北)

13秒67

女子200M

2位 渡部真希子 (2年 宮内)

25秒75 自己新 東北新人へ

7位 柿崎 美里 (1年 米沢三)

26秒65

8位 羽田 美穂 (2年 長井北)

26秒67

女子400M

5位 柿崎 美里 (1年 米沢三)

60秒64 自己新

出場 高取亜里紗 (2年 米沢一)

64秒17 自己新

出場 齋藤 綾香 (2年 長井北)

65秒95 自己新

女子100MH

2位 浅井 智佐 (1年 長井北)

15秒59 自己新 東北新人へ

5位 遠藤紗耶香 (1年 米沢三)

15秒93 自己新

女子400Mハードル

出場 齋藤 綾香 (2年 長井北)

76秒02

出場 山口 怜佳 (1年 米沢二)

81秒71

女子走幅跳

13位 山口 怜佳 (1年 米沢二)

4 M 61

女子砲丸投

14位 深瀬 静香 (1年 山形四)

7 M 15

16位 渡部 茜 (2年 米沢四)

6 M 17

8位 高橋ひとみ (2年 米沢二)

25 M 17

女子やり投

1位 高橋ひとみ (2年 米沢二)

30 M 81 自己新 東北新人へ

女子7種競技

2位 遠藤紗耶香 (1年 米沢三)

3631点 東北新人へ

女子400Mリレー

浅井 智佐 (1年 長井北)

5位 渡部真希子 (2年 宮内)

羽田 美穂 (2年 長井北)

柿崎 美里 (1年 米沢三)

予選 49秒29

決勝 50秒48 (バトンミス)

女子1600Mリレー

高取亜里紗 (2年 米沢二)

3位 渡部真希子 (2年 宮内)

羽田 美穂 (2年 長井北)

柿崎 美里 (1年 米沢三)

4分01秒64 チーム新 東北新人へ

野球部

二回戦 九里〇 7-0 ●楯岡

準々決勝 九里● 1-8 ○鶴岡東

ベスト8

(出場メンバー)

高橋 辰実 (2年 平戸)

佐藤 隼 (2年 小国)

齋藤 哲 (2年 米沢一)

川合 祐輔 (2年 米沢五)

中田 隼人 (2年 長井南)

福嶋 孝介 (2年 金沢中)

羽田 圭介 (2年 小国)

長谷川 渉 (2年 米沢二)

武内 翔平 (2年 長井南)

高橋 亮 (2年 米沢二)

志摩健太郎 (2年 三鷹二)

齋藤 充樹 (1年 弥栄)

加藤 健斗 (2年 米沢二)

佐々木典寛 (1年 川西一)

鈴木 祥平 (2年 米沢一)

高橋 呈侑 (1年 高島三)

下田 健太 (2年 浜)

皆川 龍一 (1年 南原)

湖山 峻 (2年 南原)

遠藤 康太 (2年 米沢四)

女子バスケットボール部

一回戦敗退 53-72 酒田東高校

(出場メンバー)

佐野比奈子 (2年 米沢二)

新野 満帆 (2年 米沢四)

嵐田 真奈 (1年 米沢五)

吉田 江里 (1年 米沢五)

高橋加奈恵 (1年 沖郷)

佐藤 成美 (1年 米沢五)

齋藤明日美 (1年 高島四)

長岡奈緒美 (1年 米沢五)

水泳部

50M自由形
1位 鈴木 悠希(1年 米沢四)
28秒70

100M自由形
1位 鈴木 悠希(1年 米沢四)
1分1秒13

体操部

8位 黒田 悠介(2年 米沢二)
11位 小池 裕子(2年 米沢二)
10位 伊藤 祥希(2年 米沢二)
14位 本田 桂(1年 米沢二)

女子テニス部

女子シングルス
二回戦敗退
小野 聖佳(2年 米沢二)

地区新人大会

陸上競技部

男子100M
優勝 遠藤 諒人(1年 米沢五)
11秒19

2位 安達 豊(2年 長井北)
11秒38
出場 齋藤 和磨(1年 川西一)
11秒30(決勝進出だが棄権)

男子200M
優勝 遠藤 諒人(1年 米沢五)
22秒89(予選22秒78 自己新)
2位 外山 博規(2年 米沢五)
23秒08(予選22秒94)

男子400M
優勝 外山 博規(2年 米沢五)
52秒15 自己新
2位 齋藤 和磨(1年 川西一)
52秒24 自己新

男子800M
2位 安部 力矢(2年 小国)
2分5秒23 自己新
3位 廣瀬 七生(1年 山形四)
2分5秒27 自己新
7位 佐藤 広樹(1年 山形六)
2分9秒02 自己新

男子1500M
優勝 伊藤 将太(2年 米沢四)
4分7秒01 自己新
7位 安部 力矢(2年 小国)
4分20秒00 自己新
8位 廣瀬 七生(1年 山形四)
4分22秒83 自己新

男子5000M
3位 伊藤 将太(2年 米沢四)
16分7秒45 自己新

男子走幅跳
優勝 安達 豊(2年 長井北)
6M27
3位 米野 敬介(1年 小国)
6M05
6M05 3位

男子三段跳
優勝 米野 敬介(1年 小国)
11M42

男子砲丸投
優勝 羽賀 正貴(2年 米沢五)
10M32 自己新

男子円盤投
優勝 羽賀 正貴(2年 米沢五)
33M78 自己新

男子400Mリレー
優勝 齋藤 和磨(1年 川西一)
遠藤 諒人(1年 米沢五)
安達 豊(2年 長井北)
外山 博規(2年 米沢五)
42秒70 東北新人へ

男子1600Mリレー
優勝 齋藤 和磨(1年 川西一)
遠藤 諒人(1年 米沢五)
安達 豊(2年 長井北)
外山 博規(2年 米沢五)

女子100M
優勝 羽田 美穂(2年 長井北)
12秒93(予選12秒74)
4位 浅井 智佐(1年 長井北)
13秒66(予選13秒54)

女子200M
優勝 柿崎 美里(1年 米沢三)
26秒33
2位 羽田 美穂(2年 長井北)
26秒73

女子400M
優勝 柿崎 美里(1年 米沢三)
62秒01 自己新
3位 高取 亜里紗(2年 米沢一)
64秒51 自己新
5位 齋藤 綾香(2年 長井北)
67秒34

女子100Mハードル
2位 浅井 智佐(1年 長井北)
16秒37
3位 遠藤 紗耶香(1年 米沢三)
16秒56
優勝 齋藤 綾香(2年 長井北)
74秒37

女子走幅跳
5位 山口 怜佳(1年 米沢二)
4M40
出場 駒形 麻波(1年 米沢五)
3M89

女子砲丸投
5位 渡部 茜(2年 米沢四)
6M80

女子砲丸投
5位 渡部 茜(2年 米沢四)
6M80

6位 深瀬 静香(1年) 山形四
6 M 77

女子円盤投

2位 渡部 茜(2年) 米沢四

25 M 53

4位 高橋 ひとみ(2年) 米沢二

21 M 52

6位 深瀬 静香(1年) 山形四

17 M 90

女子やり投

2位 高橋 ひとみ(2年) 米沢二

28 M 68

女子1600Mリレー

高取亜里紗(2年) 米沢一

優勝 渡部真希子(2年) 宮内

羽田 美穂(2年) 長井北

柿崎 美里(1年) 米沢三

4分12秒64

野球部

一次予選

一回戦 九里〇 10―3 ●長井

二回戦 九里〇 6―4 ●置賜農業

一次代表決定戦

九里● 2―5 ○米沢中央

二次代表決定

九里〇 7―0 ●長井

(県大会出場決定)

二次決勝 九里〇 10―9 ●米沢工業

(出場メンバー)

高橋 辰実(2年) 平 戸

男子シングルス

3位 梁 宏博(1年) 中国

ベスト8

遠藤 優太(1年) 米沢四

ベスト16

金子 駿人(1年) 川西一

志田 晶良(2年) 米沢五

代表決定で県大会出場

以上の選手が県大会出場

三回戦敗退

情野 裕作(2年) 米沢五

女子団体 優勝

二回戦 3―0 米沢商業

準決勝 3―2 興譲館

決勝 3―1 長井

以上 優勝で県大会出場

(出場メンバー)

齋藤 美久(2年) 高島二

奥村 佳奈(2年) 川西二

安部 史絵(1年) 川西二

宮本 萌詩(1年) 飯 豊

須藤 加奈(1年) 米沢一

女子シングルス

優勝 安部 史絵(1年) 川西二

2位 奥村 佳奈(2年) 川西二

ベスト8

宮本 萌詩(1年) 飯 豊

ベスト16

齋藤 美久(2年) 高島二

須藤 加奈(1年) 米沢一

以上県大会出場

男子バスケットボール部

一回戦敗退 68―79 置賜農業高校

(出場メンバー)

伊藤 貴紘(2年) 米沢二

須藤 龍介(2年) 張春高

石澤 健次(2年) 米沢三

青木 博則(1年) 沖 郷

張 継民(1年) 喜林省第二

草野 翔太(1年) 川西一

女子バスケットボール部

4位

一回戦 69―39 興譲館

二回戦 66―71 南陽

順位決定戦

三回戦 44―58 米沢商業

(出場メンバー)

佐野比奈子(2年) 米沢二

新野 満帆(2年) 米沢四

嵐田 真奈(1年) 米沢五

吉田 江里(1年) 米沢五

高橋加奈恵(1年) 沖 郷

佐藤 成美(1年) 米沢五

齋藤明日美(1年) 高島四

長岡奈緒美(1年) 米沢五

加藤 美咲(1年) 宮 内

米野瑛莉香(1年) 米沢四

遠藤 瑞穂(1年) 米沢四

マネージャー

小口友理恵(2年) 米沢二

卓球部

男子団体 3位

二回戦 3―1 興譲館

準決勝 2―3 長井

以上 3位で県大会出場

(出場メンバー)

志田 晶良(2年) 米沢五

情野 裕作(2年) 米沢五

遠藤 優太(1年) 米沢四

金子 駿人(1年) 川西二

梁 宏博(1年) 中国

ソフトボール部

3位(県大会出場決定)

【リーグ戦】2勝2敗

1-10 長井工業

(5回コールド)

9-2 米沢工業

(6回コールド)

2-3 長井

6-5 南陽

(タイブレーカー9回)

〈出場メンバー〉

神田ちづる(1年 南原)

尾形 未来(1年 米沢二)

大谷 美穂(1年 高島二)

佐藤 彩名(1年 米沢四)

手塚 優衣(2年 米沢一)

菅野 実里(2年 赤湯)

宮澤 知世(1年 南原)

加藤 千佳(1年 南原)

近野 沙桜(1年 南原)

マネージャー

野部 千夏(2年 南原)

男子テニス部

団体3位

0-3 長井工業

個人戦シングルス

ベスト8

高橋 統也(2年 米沢四)

長岡 真己(2年 米沢三)

個人戦ダブルス

ベスト8

高橋 統也(2年 米沢四)

長岡 真己(2年 米沢三)

小口 雄平(2年 米沢三)

鈴木 瞭平(1年 米沢五)

女子テニス部

個人戦シングルス

優勝 小野 聖佳(2年 米沢二)

ベスト8

近野 桃子(2年 高島四)

個人戦ダブルス

準優勝

小野 聖佳(2年 米沢二)

近野 桃子(2年 高島四)

男子バドミントン部

団体

一回戦敗退 1-3

神田 倫(2年 南原)

鈴木 一史(2年 南原)

近野 雅和(1年 米沢三)

佐藤 匠(1年 漆山)

佐藤 匠(1年 漆山)

0-2

加藤 尚寛(1年 米沢三)

2-0

ダブルス

一回戦敗退

神田 倫(2年 南原)

加藤 尚寛(1年 米沢三)

0-2

対 古畑・五十嵐(米東)

近野 雅和(1年 米沢三)

佐藤 匠(1年 漆山)

0-2

対 小口・樋口(荒砥)

シングルス

二回戦敗退

一回戦

加藤 尚寛(1年 米沢三)

2-0

対 樋口大地(荒砥)

0-2

対 後藤恭兵(興譲館)

一回戦敗退

神田 倫(2年 南原)

0-2

対 後藤 巧(長井工業)

佐藤 匠(1年 漆山)

0-2

対 亀井政俊(南陽)

近野 雅和(1年 米沢三)

0-2

対 青木祐介(荒砥)

女子バドミントン部

団体 三位入賞

一回戦 3-0 長井

二回戦 1-3 興譲館

三回戦 3-1 長井工業

四回戦 3-0 米沢工業

ダブルス

3位 色摩 友香(2年 米沢六)

後藤香朱美(2年 米沢五)

一回戦 2-0

対 菅野・安達(米工)

二回戦 2-0

対 木村・我妻(興譲館)

三回戦 2-0

対 平井・齋藤(長工)

四回戦 1-2

対 島貫・西村(興譲館)

3位 雨田 佳穂(2年 米沢四)

黒坂 里恵(1年 米沢二)

一回戦 2-0

対 穴戸・木村(興譲館)

二回戦 2-0

対 太田・上遠野(米東)

三回戦 2-0

対 後藤・佐藤(米商)

四回戦 1-2

対 菊地・釜神(興譲館)

二回戦敗退

齋藤 美紗(2年 高島二)

佐藤 穂波(1年 米沢七)

一回戦 2-0

対 片倉・岩崎(長工)

二回戦 0-2

対 菊地・釜神(興譲館)

一回戦敗退

後藤 璃帆(2年 米沢二)

平田あゆみ(1年 米沢二)

1-2

対 渡部・情野(米東)

女子シングルス

三回戦敗退

色摩 友香(2年 米沢六)

一回戦 2-0

対 中山(興譲館)

二回戦 2-0

対 上遠野(米東)

三回戦 0-2

対 釜神(興譲館)

黒坂 里恵(1年 米沢二)

一回戦 2-0

対 渡部(米東)

9位
予選リーグ

●九里	0	15	25	米東○
●九里	0	14	25	米東○
●九里	0	11	16	南陽○
●九里	0	11	25	南陽○
○九里	2	25	25	高島●
○九里	2	25	21	高島●
○九里	1	22	25	荒砥●
○九里	1	25	22	荒砥●

順位トーナメント

バレーボール部

9位
予選リーグ

二回戦	2-0	吉田(米工)
三回戦	0-2	島貫(興譲館)
二回戦敗退		
雨田 佳穂(2年)	米沢四	
一回戦	2-0	安部(長井)
二回戦	0-2	西村(興譲館)
後藤 璃帆(2年)	米沢二	
一回戦	2-0	高橋(米商)
二回戦	0-2	釜神(興譲館)
後藤香朱美(2年)	米沢五	
一回戦	2-0	情野(米東)
二回戦	0-2	菊地(興譲館)

サッカー部

9位
予選リーグ

0-5	米沢工業
0-3	長井工業
0-0	米沢商業
0-4	興譲館
1-1	荒砥
0-0	高島高校(PK4-2)

順位決定戦
(出場メンバー)

安部 恭平(2年)	南原
木口 浩輔(2年)	南原
佐藤 翔也(2年)	宮内
伊藤 彰洋(2年)	高島一
遠藤 拓也(1年)	米沢二
吉田 昂平(1年)	米沢二
小関 竜哉(1年)	米沢四
戸屋 雄大(1年)	米沢六
長部 翔矢(1年)	南原
杉本 豪(1年)	南原

体操部

女子団体

2位	小池 裕子(2年)	米沢二
1位	伊藤 祥希(2年)	米沢二
5位	本田 桂(1年)	米沢二
10位	男子個人総合	
1位	黒田 悠介(2年)	米沢二

国民体育大会

陸上競技部

男子少年A砲丸投

決勝8位	長谷川 裕(3年)	川西二
15 M 60		
女子少年B1000Mハードル		
予選8位	浅井 智佐(1年)	長井北
15秒28		

インターハイ

スキー部

5キロクラシカル

74位	島貫 蓮(2年)	米沢三
84位	近田 沙稀(1年)	米沢五
10キロフリー		
69位	島貫 蓮(2年)	米沢三
79位	近田 沙稀(1年)	米沢五
5キロ×3リレー		
23位	島貫 蓮(2年)	米沢三
	佐藤 香澄(2年)	米沢五
	近田 沙稀(1年)	米沢五

県高校総体

スキー部

5キロクラシカル

6位	島貫 蓮(2年)	米沢三
8位	近田 沙稀(1年)	米沢五

10キロフリー

8位	島貫 蓮(2年)	米沢三
9位	近田 沙稀(1年)	米沢五
5キロ×3リレー		
3位	島貫 蓮(2年)	米沢三
	佐藤 香澄(2年)	米沢五
	近田 沙稀(1年)	米沢五

東北総合体育大会

山岳部

少年女子・リード競技

3位	本田 桂(1年)	米沢二
3位	本田 桂(1年)	米沢二

その他の大会

陸上競技部

全日本ジュニア選手権(10月17日)

砲丸投		
6位	長谷川 裕(3年)	川西二
15 M 87	決勝5位	

県高校駅伝大会(10月26日)

11位	2時間27分43秒	
一区	伊藤 将太(2年)	米沢四
	32分43秒	区間16位
二区	安孫子俊志(3年)	米沢二
	10分46秒	区間14位

三区 山口 廣紀(3年 飯 豊)

四区 廣瀬 七生(1年 山形四) 27分45秒 区間9位

五区 齋藤 圭佑(3年 米沢五) 30分40秒 区間14位

六区 佐藤 広樹(1年 山形六) 10分48秒 区間11位

七区 安部 力矢(2年 小 国) 17分33秒 区間9位

17分28秒 区間13位

野 球 部

第24回秋季山形県高等学校

野球大会予選会(二年生大会)

(10月4・5日)

一次予選

一回戦 九里○ 11―1 ●南陽

二回戦 九里● 5―11 ○米沢工業

(出場メンバー)

皆川 龍一(1年 南 原)

黒田 仁(1年 高島四)

三浦 佑介(1年 七ヶ浜)

佐藤 祥平(1年 米沢二)

高橋 呈侖(1年 高島三)

齋藤 充樹(1年 弥 栄)

渡部健太郎(1年 米沢五)

小池 啓友(1年 長井南)

渡部 翼(1年 沖 郷)

佐々木典寛(1年 川西一)

遠藤 尚(1年 南 原)

金子 昂史(1年 高島二)

卓 球 部

全日本選手権県予選卓球競技

山形県総合運動公園体育館・河北町民体育館

(10月4日)ジュニアの部・10月25・26日一般の部

(出場メンバー)

ジュニア男子

志田 晶良(2年 米沢五)

情野 裕作(2年 米沢五)

遠藤 優太(1年 米沢四)

金子 駿人(1年 川西一)

ジュニア女子

齋藤 美久(2年 高島二)

奥村 佳奈(2年 川西一)

安部 史絵(1年 川西一)

宮本 萌詩(1年 飯 豊)

須藤 加奈(1年 米沢一)

一般男子

藁科 宏樹(3年 米沢三)

情野 裕作(2年 米沢五)

遠藤 優太(1年 米沢四)

梅津 一弥(職員)

一般女子

齋藤 美久(2年 高島二)

奥村 佳奈(2年 川西一)

安部 史絵(1年 川西一)

ジュニア男子シングルス

五回戦敗退

遠藤 優太(1年 米沢四)

三回戦敗退

志田 晶良(2年 米沢五)

金子 駿人(1年 川西一)

二回戦敗退

情野 裕作(2年 米沢五)

ジュニア女子シングルス

四回戦敗退

奥村 佳奈(2年 川西一)

三回戦敗退

齋藤 美久(2年 高島二)

安部 史絵(1年 川西一)

宮本 萌詩(1年 飯 豊)

二回戦敗退

須藤 加奈(1年 米沢一)

一般男子シングルス

四回戦敗退

遠藤 優太(1年 米沢四)

梅津 一弥(職員)

三回戦敗退

藁科 宏樹(3年 米沢三)

一回戦敗退

情野 裕作(2年 米沢五)

一般女子シングルス

三回戦敗退

奥村 佳奈(2年 川西一)

二回戦敗退

安部 史絵(1年 川西一)

齋藤 美久(2年 高島二)

一般男子ダブルス

四回戦敗退

藁科 宏樹(3年 米沢3)

田中 紀昭(社会人) 組

西崎 祐介(当校コーチ) 組

梅津 一弥(職員) 組

一般女子ダブルス

三回戦敗退

奥村 佳奈(2年 川西一)

安部 史絵(1年 川西一) 組

二回戦敗退

齋藤 美久(2年 高島二)

宮本 萌詩(1年 飯 豊) 組

混合ダブルス

三回戦敗退

西崎 祐介(当校コーチ)

奥村 佳奈(2年 川西一) 組

田中 紀昭(社会人)

安部 史絵(1年 川西一) 組

一回戦敗退

梅津 一弥(職員)

遠藤 萌恵(米沢四中生) 組

ス キ ー 部

第31回東北高等学校

スキー選手権大会

(2月13日)

10キロフリー

9位 島貴 蓮(2年 米沢三)

21位 近田 沙稀(1年 米沢五)

28位 佐藤 香澄(2年 米沢五)

文化系部活動

吹奏楽部

全日本アンサンブル

コンテスト置賜地区予選

3位

全日本アンサンブル

コンテスト県大会

銀賞

美術部

第59回置賜地区高校美術展

(8月8日~12日)

奨励賞

油彩画 F100号「夢想」

赤間 紗枝(2年 赤湯)

油彩画 F80号「無限大」

梅津奈未子(3年 米沢五)

デザイン B0サイズ

「花鳥風月&雪月花」

榎本 美波(3年 小国)

第56回山形県高校美術展 第32回山形県高等学校総合文化祭

(10月10日~10月12日)

努力賞

油彩画 F100号「開く世界」

青木みのり(2年 長井北)

書道部

第32回山形県高等学校総合文化祭

(10月10日~12日)

入選

「行書五律五首巻」

遠藤 美穂(3年 高島三)

「關戸本古今集」

足立 貴恵(3年 南原)

「詩経」

小林 千夏(2年 米沢四)

「臨西狹頌四屏」

高橋 奈々(2年 米沢三)

「自愛経」

蔵田 泉(2年 米沢七)

文芸部

第10回高校生文芸道場

北海道・東北ブロック大会

青森(10月16日~17日)

県代表

高橋 諒(2年 沖郷)

演劇部

置賜地区高校演劇合同発表会

米沢市民文化会館(9月27・28日)

創作劇「幕末戊辰録」 奥山 由真作

優良賞・地区講評委員代表

(スタッフ)

演出 奥山 由真(2年 米沢四)

助演出

清田 真央(1年 米沢一)

舞台監督

平間ちひろ(2年 米沢四)

助舞台監督

遠藤 志保(1年 高島一)

装置 矢木慎乃亮(2年 米沢三)

照明 山田 慧海(2年 高島四)

音響 後藤 亜希(2年 米沢四)

衣装メイク 遠藤 志保(1年 高島一)

奥山 由真(2年 米沢四)

笹原 美里(2年 沖郷)

高島 裕子(1年 川西二)

小道具 戸田 裕介(2年 南原)

清田 真央(1年 米沢一)

(キャスト)

清 奥山 由真(2年 米沢四)

大夏 矢木慎乃亮(2年 米沢三)

将三郎 戸田 裕介(2年 南原)

蛭 後藤 亜希(2年 米沢四)

友人2人 清田 真央(1年 米沢一)

島貫 裕子(1年 川西二)

静香 島貫 裕子(1年 川西二)

仁美 清田 真央(1年 米沢一)

父 戸田 裕介(2年 南原)

母 笹原 美里(2年 沖郷)

編集後記

二月十二日、上杉城史苑にて日頃お世話になっている役員の皆様と、各部活動の代表者を迎え部活動後援会後期役員会が盛大に行われました。オープニングでは各種イベントで活動しているダンス部による発表で会がスタートしました。

この会では後援会会長、学校長から一年間のねぎらいの言葉をいただき、更に今年度活躍した体育系部活動、文化系部活動から一年間の大会報告や、来年度にあたっての熱い決意表明をしてもらいました。

例年とは違う趣向で盛り上がりましたが、今年度の慰労と、来年度へ向けたい弾みのである会となりました。

一年間ご苦労様でした。そして来年度もよろしくお願いたします。

(担当 原田)



平成20年度 部活動後援会法人会員一覧 (敬称略順不同)

- (有)平田自動車工業
- (有)中條歯科医院
- (有)笹生歯科医院
- (株)齋藤住設工業
- (株)青葉堂印刷
- 米沢アルミ工業(株)
- うどん匠元
- 石附硝子(株)
- 特急寿司
- (株)カクダイ本店
- (有)花のえちごや
- (有)マルゼンスポーツ
- (有)肉の加藤
- 若月電気管理事務所
- 松岬自動車学校
- 米沢ドライビングスクール
- 山田電気管理
- (株)ヤリミズ自動車
- 玉寿司
- (株)本多建設
- (株)本多興産
- ホテルベネックス
- (株)ニュー小原商店
- (株)スズデン
- 渡辺商店
- 山交観光(株)米沢営業所
- (株)北宣
- 愛染
- 上杉城史苑
- (有)タカモク
- (有)井上板金工業所
- (株)城南産業
- (株)米沢住建センター
- (株)千代田電工
- (有)吾妻外装
- (有)佐々木硝子店
- (株)マルコーエンジニアリング
- 山形電気保安管理(株)
- アズミタイトル
- 情野冷熱機工(株)
- 金沢清掃(有)
- 遠藤岩根
- (有)今井商店
- ブティックラヴィ
- (有)金内酒店
- (有)鈴木自動車板金工作所
- ステーキハウスオルガン
- 東亜熱研工業(株)
- (有)鳥勝牛肉店
- (有)タキペン塗装
- 神原省治
- 桑原豆腐店
- 和光堂写真館
- 米沢ソーリストサービス
- 近畿日本ソーリスト
- (株)JTB東北米沢支店
- (有)べにはな
- (株)伊藤園
- (株)仙台コココーラ
- (有)ウエマツ
- (株)小泉創芸
- 齋藤俊一税理士事務所
- (株)タスクフーズ
- ひかりフーズ
- 土木施工山口
- インテリア雅
- 酒井塗装所
- (株)川島印刷
- 福島カラー印刷(株)
- (株)エービーエム
- (株)平山孫兵衛商店
- (株)山一酒販
- 東京第一ホテル米沢
- (株)小島洋酒店
- 米沢酒類販売(株)
- (株)小嶋総本店
- 山形日産自動車(株)
- 相田建設(株)
- 東家
- 八百勘本店
- (株)アクセル
- 滝口塗装店
- (有)日本マイティー
- (有)キョウドウ印刷
- (株)吾妻スポーツ
- 斉藤清一

(平成二十一年二月二十六日現在)



本会は九里学園高等学校における教育活動の中で重要な位置を占める体育・文化の部活動を、経済的に援助をする会です。会費は次の通りです。

- 特別会員** 年会費 一〇三、〇〇〇円 (□数は問わず)
- 法人会費** 年会費 一〇一〇、〇〇〇円 (□数は問わず)

新規会員を募集しております。

お問い合わせは
後援会事務局(担当)大滝勲まで
ご一報下さい。

☎0113-8211009
☎0113-8211009
☎0113-8211009
☎0113-8211009